

第三十回（令和六年度）

令和独楽吟

橘曙覧顕彰短歌コンクール

主 催	福井市・公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会
共 催	福井新聞社・NHK福井放送局
後 援	福井中央郵便局・福井本丸ライオンズクラブ・ 福井県・福井県教育委員会・福井市教育委員会
協 賛	熊本市

第三十回（令和六年度）

令和独楽吟―橘曙覧顕彰短歌コンクール―について

（募集期間 令和六年九月一日～十一月三十日）

福井に生きた幕末の歌人、橘曙覧（たちばなのあけみ）。

曙覧が詠んだ一連の作品に『独楽吟』^{どくらくぎん}があります。

『独楽吟』は、「たのしみは」で始まり「…とき」で終わる形で詠まれた、五二首の連作の短歌で、日常生活の中に楽しみを見つけ心豊かに生きた曙覧の心情が詠み込まれています。

平成六年、当時の天皇皇后両陛下がご訪米された折、クリントン大統領が歓迎スピーチにおいて、「たのしみは朝おきいでて昨日まで無かりし花の咲ける見る時」の一首を引用したことで、『独楽吟』に注目が集まりました。

この翌年より曙覧に倣った短歌コンクールを始め、「独楽吟部門」では、生活の中で感じた身近な楽しみを詠んだ歌を、「自由短歌部門」では、正岡子規に絶賛され革新的な和歌を詠んだ曙覧にちなみ自由詠の短歌を、全国から募集してきました。

今回は第三十回を記念し、両部門に特別賞を設け、独楽吟部門に六五〇二首、自由短歌部門に一六九九首、一二八校からご応募をいただきました。

ここに入賞・秀作に選ばれた全作品を掲載いたします。

全国から寄せられた、たのしみの歌、こころの歌をご覧ください。

審査員

独楽吟部門

審査員長

市村 善郎 歌人

橋谷 桂子 童話作家

佐孝 石画 俳人

足立 尚計 歌人

審査員

自由短歌部門

審査員長

福島 泰樹 歌人

加賀 要子 歌人

喜多 昭夫 歌人

足立 尚計 歌人

独楽吟部門

橘曙覧賞

たのしみはくつしたの穴見つけた日試合の成果と気がついた時

福井県
西川未唯

独楽吟部門 入賞作品

第三十回記念特別賞

たのしみは石をどけるとまたそこに別の世界があると知るとき

滋賀県 千代 哲雄

福井市長賞

たのしみは父の遺品の本ひらき線の引かれし行探すとき

福岡県 地代 友美

福井市教育委員会賞

楽しみは小さき命を育てつつ母になりゆく顔を見るとき

東京都 近藤 真澄

福井新聞社賞

たのしみは夕焼けの中舞うトンボ指に止まるの待っている時

滋賀県 齋藤 有里

日本放送協会福井放送局長賞

たのしみは本を見て編むマフラーが寒さとともに長くなるとき

埼玉県 新井 春美

福井中央郵便局長賞

たのしみは母にないしよで父さんと気持ちをこめて花おくる時

兵庫県 森 誇野香

熊本市賞

たのしみは録画の中に生きてゐる君の雄姿と笑顔みる時

福井県 竹 原 悦子

歴史のみえるまちづくり協会理事長賞

たのしみはおぼんの集まりごせんぞ様なすときゅうりに乗ってくるとき

福井県 渡 邊 清 花

学校賞

京都府 京都女子大学附属小学校

石川県 白山市立石川小学校

たのしみは髭剃り終えて鏡見て亡き父に似た顔のあるとき

千葉県 堀 卓

たのしみは土鍋で炊きたいちほまれほんのりおこげ噛みしめるとき

福井県 三ツ井 秀生

たのしみは乏しくなった賀状繰り今年も君の名確かめるとき

大阪府 夏田 信身

たのしみは仲間とともにペダルこぎ先頭たって風うけるととき

京都府 増田 琉羽

たのしみは三国マリーナの午後六時夕映の中釣りに行くとき

福井県 木下 裕貴

たのしみは自転車のおって雲目指しつばめのように風にのるとき

福井県 竹内 悠真

たのしみはたくさんあるが一番はやっぱり君と笑い合うとき

香川県 黒川 大遙

たのしみは美容室にて髪を切り心機一転歩き出すとき

香川県 藤田 彩絵

たのしみは筆箱を開け中見るとえんぴつ全てとがっていた時

大阪府 森田 愛子

たのしみは高2の息子の横顔にときたま宿る志士を見るとき

福井県 和田 慎子

たのしみはけんけんぱあのはあの輪へ跳んだ刹那に風になるとき

東京都 稲山 博司

たのしみはくるよくるよと待つ花火かぞくみんなでつどい見るとき

福井県 笹本 俊斗

たのしみは一大イベントたらいぶねぶかぶか浮かぶ友と乗るとき

新潟県 細川 杏

たのしみはあまり笑わん女の子自分の話ふと笑ったとき

兵庫県 橋口 夏希

たのしみは学校終わり弟とキャッチボールしほめ合った時

石川県 藤田 瑞穂

たのしみは家族とともにそらの上うみをつないで旅行するとき

東京都 鬼室 遥香

たのしみは練習試合で顧問から「出ろ」と言われとんでいくとき

神奈川県 花岡 咲希

たのしみはきみといるときまたあおうたのしいときはきみといるとき

神奈川県 大野 陽茉莉

たのしみは嶺より下界を見渡して「私は神だ」と叫んでみるとき

東京都 森口 夕理香

たのしみは大谷選手のホームランと朝顔の数競い合うとき

徳島県 坂東 典子

自由短歌部門

橘曙覧賞

赤マンマ咲く野の道を父の引くりヤカーに乗り稲を運びき

福井県 齋藤幸子

自由短歌部門 入賞作品

第三十回記念特別賞

風を切る見えない翼持つように両手をひろげ漕ぐ一輪車

埼玉県 松本尚樹

福井市長賞

さよならと君に向かって振った手を下ろすと糸が切れる気がして

神奈川県 中西 董

福井市教育委員会賞

はてしなく遠い銀河のその果てに遊びし子供青いビー玉

大阪府 松下美里

福井新聞社賞

勝山を冬の夜空はキラキラと手がとどきそうな光る星たち

福井県 齋藤誠幸翔

日本放送協会福井放送局長賞

祖母にしか出せない味がこの世から消えてあんなに星が泣いてる

兵庫県 足立有希

福井中央郵便局長賞

ありがとうとつぶやく頭上に今日もまた能登へとむかうへりが飛びゆく

石川県 江川 佳子

歴史のみえるまちづくり協会理事長賞

十五年伸ばしたロングヘアを切る朝を駆け抜けいま逢いに往く

石川県 渡邊 美愛

春の水筆に含ませ自画像を描けば故郷の母に似ている

奈良県 水谷 あづさ

衣替え新たな色に袖通し少し切なき秋の始まり

山形県 黒田 紗良

指おとすピアノの鍵盤時止まる思いを音色へ静かなる朝

東京都 森 藤 真秀

あなたとの最期の約束果たすからカムパネルラの列車を探す

北海道 菊池 健人

悠々と夏空泳ぐはぐれ雲群れず染まらず自由に生きる

福井県 瀧 伸幸

世の中に少し逆らいアナログに生きるわたしのための朝焼け

石川県 道 願 麻子

みどり児の小さな指に秋陽さし真珠のように煌めきし爪

長崎県 工 藤 敏子

夏の日の歓声響く体育館思いのつまったラストシュート

山形県 志 藤 大知

わが海は思へばずっと君だった朝のカフェオレぬるくなりゆく

鳥取県 坂 本 恵子

風澄みていわし雲見て七千歩夜勤明け夫は深い眠りに

岐阜県 吉 村 夏子

横にあるココアはバターが香ってて無口な父の氣遣いと知る

神奈川県 太田 実来

肩並べ見上げた空に光咲く隣の君は笑顔に染まる

山形県 小山田 一美

秋の夜揺れる薄の月淡く君への想い遠きこと知る

山形県 星 悠也

イヤフォンをつければつり革一つ分早朝七時私の世界

山形県 前田 彩菜

すれ違う君のマフラー目に触れて風の冷たさ肌に沁みゆく

山形県 榎木 陽香

またいずれと差し出す君の瘦せた手を深く握りぬ遠き春雷

東京都 野上 卓

芽づるや草も食らひて生き延びし世代が百寿の先陣をゆく

奈良県 渡辺 勇三

たこ焼きをソフィアローレン食べに来た店の真っ赤なテーブルと椅子

大阪府 岡本 信一

年上の君と暮らした白薔薇のブーケのやうな恋をしていた

三重県 大石 浩史

ふるさとの駅に降り立ち深呼吸橘香る五月雨の夜

静岡県 杉山 利慶

独楽吟部門 総評

審査員長 市村善郎

「たのしみはくつしたの穴見つけた日試合の成果と気がついた時」を橘曙覧賞に推して今回のコンクールを終えた。熱のこもった作品を受けとめられた事を喜びとしたい。「くつしたの穴」をとりあげてひとつの世界を作ったのがいい。最近あまり見ることはない「くつしたの穴」だが、運動の種類、作者の年代など、思いを広げさせてくれた。

短歌は三十一文字という制限を持つ上に、独楽吟は「たのしみは」「とき」、更に七文字の制限がある。二十四文字でまとめねばならない。このコンクールが始まったところは二十四文字を使う歌がこれ程続くとは思わなかった。特に小中学生の思いや発見が思いがけない名作を生んだ。四人の審査員で作品を選ぶのだが、選考が完全と思ったことは一度もない。短歌のコンクールとしては他にないものを創作していただいたことを曙覧さんに感謝しながら、現代の独楽吟を楽しみたい。

入賞作全てに寸感を付す頁はないが、第三十回記念特別賞の「石の下」を見つけたとき。福井市長賞の父の愛読書の発見、父の青春時代が見えるか。福井市教育委員会賞の「母になりゆく顔」、作者は母か祖母か。福井新聞社賞の人を恐れないトンボ。これは赤トンボみたいですね。この外に寄せて頂いた六千五百首の「たのしみ」、その三十回分。橘曙覧に感動することを発見した今回の大会でした。

自由短歌部門 総評

審査員長 福島泰樹

第三十回令和独楽吟、自由短歌部門橘曙覧賞に輝く齋藤幸子さんの「赤マンマ咲く野の道を父の引くりヤカーに乗り稲運びき」の一首を誦誦してみよう。稲刈りに忙しい秋の田畑が見えてきます。畦道に咲く赤マンマ、若い父の背中、幼い私、家族で働く喜び……。家族の崩壊が囁かれて久しい今日、この一首が問いかける意味は重たい。

「風を切る見えない翼持つように両手をひろげ漕ぐ一輪車」(松本尚樹)、「さよならと君に向かって振った手を下ろすと糸が切れる気がして」(中西 董)。若い人たちの感覚ゆたかな作品に心打たれた。

短歌は呼びかけ、語りかけの詩型であり、追憶を激しくさせる詩型でもある。審査員長を引き受けて二十五年、歴史、社会、戦争、労働、家族、愛……。生・老・病・死を歌った真摯な作品に涙を溅ぎ、また嬉々として福井へ向かった四半世紀であった。

令和独楽吟自由短歌部門の審査を終えるにあたり、足立尚計、喜多昭夫、加賀要子の審査員の皆様、福井市及び歴史の見えるまちづくり協会の皆様に御礼申し上げます。有難うございました。

受賞のごとば（独楽吟部門）

橘曙覧賞

たのしみはくつしたの穴見つけた日試合の成果と気がついた時

福井県 西川 未唯

今回は、このような素晴らしい賞を頂き、ありがとうございます。バスケの試合が終わった後にくつ下を見たら、穴があいていて、自分のがんばりの証拠だなあと感じてうれしくなりました。これからも、このような小さな幸せを大切にしながら楽しく生きていきたいです。

第三十回記念特別賞

たのしみは石をどけるとまたそこに別の世界があると知るとき

滋賀県 千代 哲雄

このたびは第三十回記念特別賞に選んでいただき、ありがとうございます。ある理科の先生が「ダンゴムシは壁に当たれば、はじめは右、次に当たると左に曲がり、同じ間違いをくり返さない」というお話をされていました。実際にやってみると、右、左、右、左……と曲がったのです。この神秘性を表現したくて短歌にしました。

福井市長賞

たのしみは父の遺品の本ひらき線の引かれし行探するとき

福岡県 地代 友美

亡き父は大変な読書家でした。私が橘曙覧と出会った正岡子規の「歌よみに与ふる書」も父の蔵書の一冊です。遺された本にはどれも赤鉛筆の線や書込があり、その足跡を辿る度、父と対話しているような温かい気持ちになります。このささやかな「たのしみ」を拾い上げて下さった先生方、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

福井市教育委員会賞

楽しみは小さき命を育てつつ母になりゆく顔を見るとき

東京都 近藤 真澄

生後もない孫が眠っている時に地震があり、その時娘は一目散に孫に駆け寄りました。地震に誰よりうろたえていた娘が一心に走る姿に「母親になったのだなあ。」としみじみ感じ、その時のことを詠みました。

このような賞をいただくことができ、大変ありがたく思います。ありがとうございます。

福井新聞社賞

たのしみは夕焼けの中舞うトンボ指に止まるの待っている時

滋賀県 齋藤有里

受賞できてとてもうれしいです。この短歌は、私が公園に行った時に、トンボが夕焼けの中を優雅に飛んでいて、指を立てて指に止まれ、止まれと待っていた時が、すごくワクワクして楽しかったことを思い出して作りました。賞に選んでもらえた事で、短歌をもっと深く知りたいなと思いました。

日本放送協会福井放送局長賞

たのしみは本を見て編むマフラーが寒さとともに長くなるとき

埼玉県 新井春美

編み物が好きでしたが、なかなかうまくできませんでした。それでも、ゆっくりですが、マフラーが長くなるのが楽しかったことを覚えています。その思い出が作品につながりました。ありがとうございました。

福井中央郵便局長賞

たのしみは母にないしよで父さんと気持ちをこめて花おくる時

兵庫県 森 誇野香

この短歌は、お父さんと一緒に、お母さんに内緒で母の日のプレゼントをお花屋さんに買いに行った時のワクワクする気持ちと、お母さんの喜ぶ顔を想像してよんだ短歌です。

素敵な賞をいただくことができてとても嬉しいです。ありがとうございました。

熊本市賞

たのしみは録画の中に生きてゐる君の雄姿と笑顔みる時

福井県 竹原悦子

突然の病により三十三歳の若さで亡くなった甥。残されたテレビの録画映像には、アスリートとして活躍した姿や折々のはにかんだ笑顔が、今も生き続いています。

この一首は、やさしいヒーローに捧げる、伯母からの金メダルです。その思いを汲み取って頂き、有り難うございました。

歴史のみえるまちづくり協会理事長賞

たのしみはおぼんの集まりごせんぞ様なすときゅうりに乗ってくるとき

福井県 渡 邊 清 花

この度は、とても素晴らしい賞を頂きありがとうございます。

じいちゃんはいつも家の中心にいて、毎日おいしい野菜を作っていました。会って話すことは出来なくなっただけで、みんなの話の中にはじいちゃんが今もいます。

おぼんにはきつと新せんな野菜に乗って、私達のもとへ来てくれていると思います。

学校賞

京都府 京都女子大学附属小学校

今回、学校賞をいただきありがとうございます。

六年国語の教科書単元に「たのしみは」があります。本校六年生では「国語力の三乗」を合言葉に、書写（小筆）×絵画（墨絵）×創作（短歌）の授業を計画しました。子どもたちは創作した短歌を小筆で書き、半紙に挿絵を墨で描き加えました。作品は教室に飾り、作品を見ながら、友達と感想を交流しました。

秋になり、再び「たのしみは」で始まり、「時」で結ぶ短歌をつくりました。日常の中に楽しみを見つけ、表現し、お互いの良さを認め合う活動を推進してきた六年生の良き卒業記念となりました。

（六年担任 国語科担当 東 道子）

石川県 白山市立石川小学校

石川県白山市は、俳人加賀千代女の生誕地ということもあり、俳句は子ども達にとってなじみがありますが、短歌にふれる機会はありません。そんな子ども達が「俳句よりは長いけどやっぱり短いなあ」「うーん文字が足りない」「もっと良い言葉はないかな？」と言いながら短歌作りに没頭する姿は、とても微笑ましく温かいものです。この度の受賞は、きつと子ども達にとって、何かの励みになってくれることと思います。ありがとうございました。

（教諭 前田美雪）

受賞のごとば（自由短歌部門）

橘曙覧賞

赤マンマ咲く野の道を父の引くりヤカーに乗り稲を運びき

福井県 齋藤 幸子

田んぼから家の近くの稲架場まで稲を運びリヤカーにのせてもらうのが楽しみで、姉妹が日曜農業の父の手伝いをしました。帰りは稲をつんだリヤカーを後ろから力いっぱい押すのです。筵を敷いた稲架場は子供達の格好の遊び場でした。足踏みで稲扱きをした遠い昔を懐かしむ今日此頃です。

第三十回記念特別賞

風を切る見えない翼持つように両手をひろげ漕ぐ一輪車

埼玉県 松本 尚樹

言葉によって心に翼を増やす、短歌という詩型は私を魅了してやみません。
翼をひろげ飛び立つときも、翼をたたみ身を休めるときもある暮らしの中で、これからも歌を詠み続けていけたら、と思います。

今回限りの特別な賞に選んで頂けたこと、大変嬉しく思います。ありがとうございました。

福井市長賞

さよならと君に向かって振った手を下ろすと糸が切れる気がして

神奈川県 中西 董

このたびはこのような賞をいただき、心より嬉しく思います。受賞することができたのは、ご指導くださった先生方、共に高め合ってきた先輩方や同級生のお力添えのおかげです。この歌は、大切な人を見送る際に相手が見えなくなる瞬間ではなく、振った手をおろした時こそ本当の別れなのだと感じたことを詠んだものです。

福井市教育委員会賞

はてしなく遠い銀河のその果てに遊びし子供青いビー玉

大阪府 松下 美里

この度は素晴らしい賞をいただきまして、誠にありがとうございます。このように賞に選んでいただくのは初めてのことでとても嬉しく思います。これから様々な経験を通して感じたことをもとに短歌を作り続けたいと思います。本当にありがとうございました。

福井新聞社賞

勝山を冬の夜空はキラキラと手がとどきそうな光る星たち

福井県 齋 藤 誠幸翔

ぼくは勝山に住んでいて、勝山のことが好きです。勝山の冬は、とても空気がすんでいて、星がとてもきれいにかがやいて見えます。勝山のすばらしい所をもっといろんな人に知ってもらいたい気持ちでつくりました。このようなすばらしい賞にえらんでいただきありがとうございました。これからも勝山のみ力を伝えていきたいです。

日本放送協会福井放送局長賞

祖母にしか出せない味がこの世から消えてあんなに星が泣いてる

兵庫県 足 立 有 希

祖母の手料理を食べる機会は年に数回程度しかなかったが、それ故に一つ一つの味をよく覚えている。作ってもらった最後の料理は、何という事のないうどんだったが、だしが効いていてとてもおいしかった。あの時私は珍しく「おいしい」を繰り返しながら食べた。あれが最後になるとは思わなかったが、伝えることができたのは幸いであった。

福井中央郵便局長賞

ありがとうとつぶやく頭上に今日もまた能登へとむかうへりが飛びゆく

石川県 江 川 佳 子

能登半島地震の後、上空を何度もへりが行きかい、それが何カ月も続きました。支援に向かうへりに、自然と感謝の言葉が出てきた時のことを詠んだものです。今回、このような素晴らしい賞をいただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。

歴史のみえるまちづくり協会理事長賞

十五年伸ばしたロングヘアを切る朝を駆け抜けいま逢いに往く

石川県 渡 邊 美 愛

この度は栄誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。私にとって髪を切ることは、単なる身だしなみの変化ではなく、覚悟と再生の象徴でもあります。十五年という歳月を断ち切る一瞬の躍動を三十一文字に込めました。その決意の疾走感が少しでも届いたなら嬉しいです。改めましてありがとうございます。